

# 中2英語1(2025)

## (2学期②)

—堅実な英語力の養成—

担当:青柳良太

開成中学校

## 今学期の予定

第 64 講	中間考査返却
第 65 講	to 不定詞(1)
第 66 講	to 不定詞(2)
第 67 講	to 不定詞(1)(2) 確認問題
第 68 講	小テスト
第 69 講	to 不定詞(3)
第 70 講	to 不定詞(3) 確認問題
第 71 講	to 不定詞(4)
第 72 講	to 不定詞(4) 確認問題

## 授業で扱ってきた歌一覧

時期	曲名	アーティスト名	関連文法分野
中 1 (1 学期)①	Saturday Night	Bay City Rollers	アルファベット
中 1 (1 学期)②	Stand By Me	Ben E. King	冠詞(the)、be 動詞
中 1 (2 学期)①	Ob-La-Di, Ob-La-Da	The Beatles	3 単現の s
中 1 (2 学期)②	Please Mr Postman	Carpenters	命令文
中 1 (3 学期)	Yesterday Once More	Carpenters	過去形
中 2 (1 学期)①	Imagine	John Lennon	There is 構文
中 2 (1 学期)②	When Will I See You Again	Three Degrees	will
中 2 (1 学期)②	You Can't Hurry Love	The Supremes	can, must
中 2 (2 学期)①	Wonderful Tonight	Eric Clapton	集合名詞 hair

## 第71講

### 今日の語彙

( )内に入る英語を語群から選んで入れなさい。

- (901) 対策 / 基準 / ～を測る (.....)
- (902) 能力 ability
- (903) テープ / ～を録音[録画]する tape
- (904) 文化 culture
- (905) 中間 middle
- (906) 島 (.....)
- (907) 習慣、慣習 custom
- (908) 印刷 / 活字 / 指紋 / ～を印刷する print
- (909) 大邸宅 mansion
- (910) はしご ladder
- (911) 奨学金 / 学問 scholarship
- (912) 森林 forest
- (913) 税金 / ～に課税する tax
- (914) 政府 government

- (915) ～を複写する / 複写 / (本などの)部、冊 copy
- (916) 緊急の urgent
- (917) 役に立つ useful
- (918) 伝統的な traditional
- (919) 難しい / 丈夫な (.....)
- (920) 混雑した crowded
- (921) 可能性がある / (実現)可能な possible
- (922) 望ましい advisable
- (923) ～と仲直りする make up with～
- (924) ～を誇りに思う (.....)
- (925) ～を伐採する / ～を削減する (.....)

語群

tough / be proud of～ / cut down～ /

island / measure

# 今日の文法

## 《to 不定詞(4)》

### ❖ 形式主語構文

今日はまず、名詞的用法の to 不定詞が主語になる文の復習から入る。次の日本文にあたる英文を名詞的用法の to 不定詞を主語にして書いてほしい。

((1).....)

間違えることは自然なことだ。

さて、この文の主語は **to make a mistake** である。このままでももちろん文法的に問題はないのだが、主語が長い。英語ではこのように主語が長い文は不格好とされる。英語は**長い要素を後ろに置く**のを好む言語なのである。ではその傾向にしたがって、(1)の文の主語を後ろに置くこととしよう。

((2).....)

これで長い主語は後ろに置かれたのだが、そのせいで動詞の前に主語がなくなってしまった。主語の位置が空っぽのままではこれはこれでまた不格好である。英語は**主語の位置をなるべく空っぽにしないようにする**言語である。そこで仕方がないので、本当の主語は後ろに置かれてしまって元々主語があった位置が空っぽになったのを埋めるだけの働きを担う語でその部分を埋めることになる。その役割をするのが((3).....)である。この **it** は前に出てきた名詞の代わりに用いられる代名詞の **it** とは違って、それ自体意味はなく、穴埋めのために置かれた **it** である。では(3)の空っぽになったところに **it** を入れて、文を書き直してみよう。

((4).....)

実は to 不定詞を主語にした文は、**一般的な真理のような内容**(例えば **To live is to learn**. 生きることは学ぶことだ[人生とは学びの連続だ。])について話すときに使われることが多く、to 不定詞の名詞的用法を主語とするときには、ふつうは(4)のように形式主語を使った文で表す。

さて、ここで文法用語をいくつか覚えてもらう。先ほど穴埋めのために用いた **it**

は本当の主語の代わりに形式的に置いた主語、ということから((5).....)  
または本当の主語の代わりに仮に置いた主語ということ((6).....)とい  
う。そしてこの形式主語を用いた文の形は、よく用いられる決まった文構造でこれ  
を特に形式主語構文という(「構文」という名前は **There is** 構文のところでも出て  
きたが、これからたくさん耳にする文法用語である。あまりきちんと定義されない  
まま広く使われている用語だが、よく用いられる決まった文の形くらいに考えても  
らえばよい)。

It is **形容詞** to 不定詞:「～することは**形容詞**だ。」

↑名詞的な表現のこともある

この形式主語構文で注意してもらいたいことは、it を代名詞の it ときちんと区  
別することである。代名詞の it は前に出てきた何かの名詞を受けているわけで、  
ふつうは「それ」と解釈すればよいのだが、形式主語の it はそうではなく、後ろ  
にある本当の主語の内容を指すものである(つまりこれからは it=「それ」という考  
え方はできないということ)。it がどういう場合に代名詞で、どういう場合に形式  
主語なのか、ということを見分けられるようになるためには、まずは形式主語構文  
の形に慣れてもらうことが第一歩である。

#### ❖ to 不定詞の意味上の主語

to 不定詞の動作主は((7).....)ことによって表される。

この to 不定詞の動作主のことを、その文全体の主語と区別して **to 不定詞の意味  
上の主語**という。整理するために、次の文の文全体の主語と to 不定詞の意味上の  
主語を指摘した上で、文を日本語にしてみよう。

It's unusual for him to be late.文全体の主語は((8).....)

to 不定詞の意味上の主語は((9).....)

英文の日本語の意味は「(10).....」

このように、先ほど紹介した形式主語構文は、意味上の主語を伴って、次の形で  
使われることがかなり多い。

It is **形容詞** for **名詞** to 不定詞:「**名詞**が～することは**形容詞**だ。」

ただし、一点、気をつけてほしいのは、形式主語構文の to 不定詞の直前に置か  
れた for +名詞が意味上の主語とならないこともある、ということである。次の英  
文を訳してみよう。この for は何と訳せばよいだろうか。

It's important for your health to eat vegetables every day.

(11).....

## ❖ 意味上の主語を伴った to 不定詞

意味上の主語を伴った to 不定詞は次のような形で整理して覚えておくとよい。

for 人 to 不定詞

「人が～すること」(名詞的用法)

「人が～するための」(形容詞的用法)

「人が～するために」(副詞的用法)

※意味上の主語になるのは「人」だけではないが、ここではわかりやすさを優先して「人」と表記しておく。では、名詞的用法以外の to 不定詞に意味上の主語が伴った例文を見てみよう。

((12).....)

これはあなたが考えるべきことです。

((13).....), you need to eat well.

あなたが健康であるために、しっかり食べる必要があります。

※so as to 不定詞の表現に意味上の主語はつけられません。

## ❖ too + 形容詞[副詞] + to 不定詞

to 不定詞を含む重要表現の一つで次のような意味になる。

too + **形容詞**[**副詞**] + to 不定詞

：「～するにはあまりに**形容詞**[**副詞**]すぎる、

あまりに**形容詞**[**副詞**]すぎて～できない」

((14).....)

この箱は重すぎて運べません。

この表現でも to 不定詞に意味上の主語が伴うことがある。

too + **形容詞**[**副詞**] + for 人 to 不定詞

：「人が～するにはあまりに**形容詞**[**副詞**]すぎる、

あまりに**形容詞**[**副詞**]すぎて人が～できない」

((15).....)

この箱は私には重すぎて運べません[この箱は私が運ぶには重すぎる]。

too 以下に副詞が続く例も記しておく。

He talked too fast for me to follow.

彼の話すスピードが速すぎて、ついていけなかった。

## ❖ 形容詞[副詞] + enough to 不定詞

これも to 不定詞を含む重要表現の一つで次のような意味になる。

### 形容詞[副詞] + enough to 不定詞

!「～するのに十分形容詞[副詞]である、  
～する[できる]ほど十分形容詞[副詞]である」

((16).....)

この箱は運べるくらい軽い。

この表現でも to 不定詞に意味上の主語が伴うことがある。

### 形容詞[副詞] + enough for 人 to 不定詞

!「人が～するのに十分形容詞[副詞]である、  
人が～する[できる]ほど十分形容詞[副詞]である」

((17).....)

この箱は私が一人で運べるくらいに軽いです。

ちなみに This box is light. と言えば、客観的に言って、this box が軽いことを意味するが(17)の文は「私が運べるくらい」の軽さであって、客観的に軽いとは限らない点に注意。

## ❖ 前の名詞の内容を説明する to 不定詞

次の表現における to 不定詞は、前の名詞の内容を説明している。一般に B が A の言い換え、または内容説明であるとき、英文法では B は A の((18).....)である、という。その言い方を用いると、下の表現の to 不定詞は名詞の同格である。この直前の名詞の同格の to 不定詞が何用法なのかは文法書によって名詞的用法だったり形容詞的用法だったりであるからあまり気にすることはない(私は、名詞の言い換えなのだから名詞的用法だと考えている)。

ability to 不定詞: 「～できるという能力」

decision to 不定詞: 「～するという決定、決意、決心」

promise to 不定詞: 「～するという約束」

desire to 不定詞: 「～するという願望」

((19).....) changed her life.

別の町に引っ越すという決断が彼女の人生を変えた。

## 今日の書き取り

(1).....

(2).....

(3).....

## 今日の復習(自習用)

(1).....  
間違えることは自然なことだ。

(2).....  
彼が遅れるのは珍しい。

(3).....  
毎日野菜を食べることは、あなたの健康にとって重要である。

(4).....  
これはあなたが考えるべきことです。

(5).....  
あなたが健康であるために、しっかり食べる必要があります。

(6).....  
この箱は重すぎて運べません。

(7).....  
この箱は私には重すぎて運べません。

(8).....  
彼の話すスピードが速すぎて、ついていけなかった。

(9).....  
この箱は運べるくらい軽い。

(10).....  
この箱は私が一人で運べるくらいに軽いです。

(11).....  
別の町に引っ越すという決断が彼女の人生を変えた。

## 第 72 講

### 今日の語彙確認問題

前回の単語のページの内容を思い出して、空所を埋めなさい。  
(このページの答え合わせは前のページを見ながら  
自分で授業までにしておくこと。)

- (901) 対策 / 基準 / ～を測る (.....)
- (902) 能力 (.....)
- (903) テープ / ～を録音[録画]する (.....)
- (904) 文化 (.....)
- (905) 中間 (.....)
- (906) 島 (.....)
- (907) 習慣、慣習 (.....)
- (908) 印刷 / 活字 / 指紋 / ～を印刷する (.....)
- (909) 大邸宅 (.....)
- (910) はしご (.....)
- (911) 奨学金 / 学問 (.....)
- (912) 森林 (.....)
- (913) 税金 / ～に課税する (.....)

- (914) 政府 (.....)
- (915) ~を複写する / 複写 / (本などの)部、冊 (.....)
- (916) 緊急の (.....)
- (917) 役に立つ (.....)
- (918) 伝統的な (.....)
- (919) 難しい / 丈夫な (.....)
- (920) 混雑した (.....)
- (921) 可能性がある / (実現)可能な (.....)
- (922) 望ましい (.....)
- (923) ~と仲直りする (.....)
- (924) ~を誇りに思う (.....)
- (925) ~を伐採する / ~を削減する (.....)

## 今日の文法確認問題

【1】形式主語を用いて文を書きかえ、全文を日本語にしてください。

- (1) To speak loudly on the train is bad manners.
- (2) To imagine a world without modern communications technology is difficult.

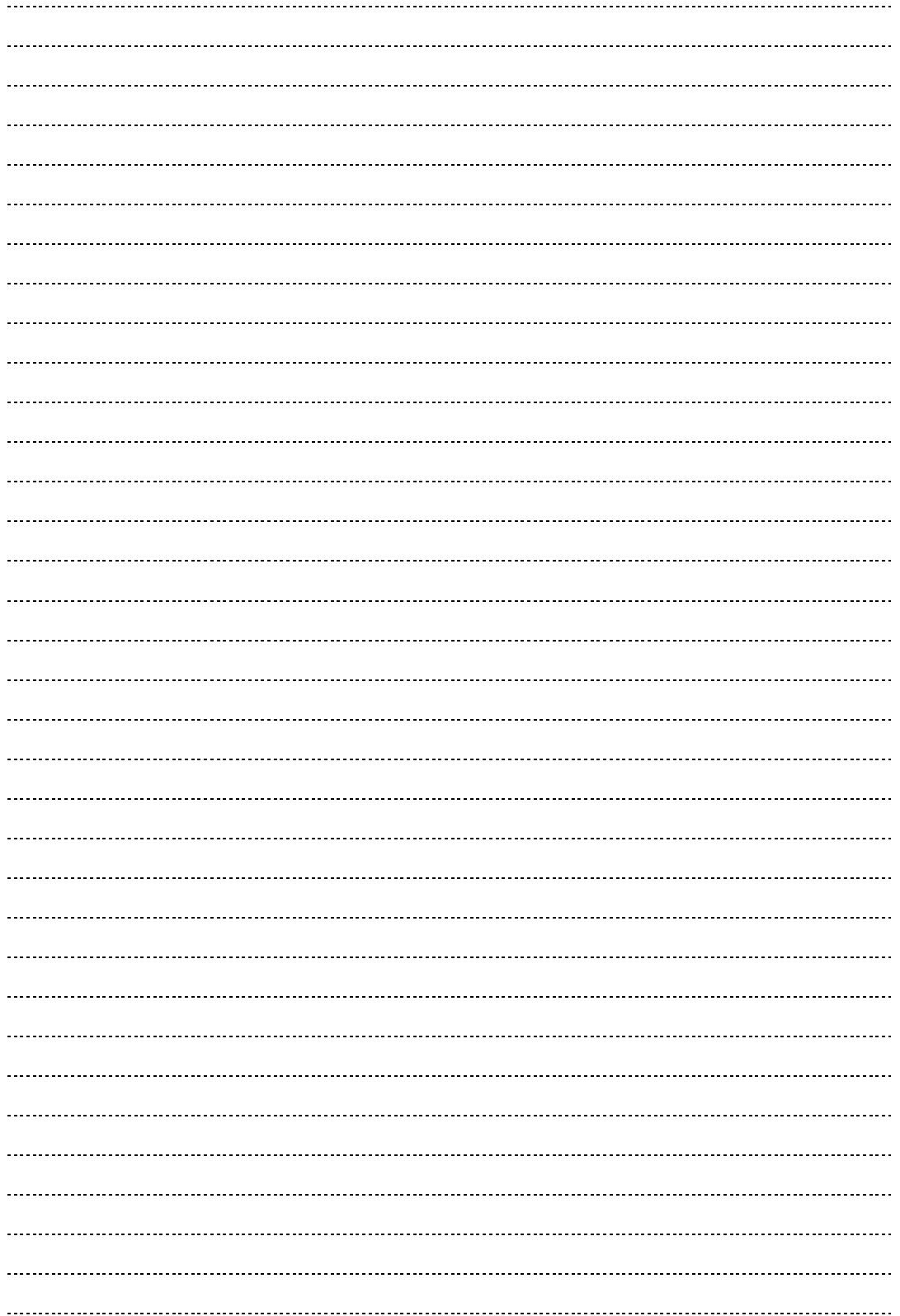
【2】日本文の意味になるように空所に適語を入れなさい。

- (1) You're old (.....)(.....) understand something like this.  
君の年ならこれくらいのことは分かりそうなものです。
- (2) The print is (.....)(.....)(.....)(.....).  
(活)字が細かすぎて読めません。
- (3) It's late (.....)(.....) the staff (.....) stop work.  
職員(の人たち)が仕事を切り上げてもいい時間です[それくらい遅い]。
- (4) It's (.....) late (.....) a drugstore (.....) be open.  
こんな遅い時間に薬局なんてやっていませんよ。

【3】it の用法を下から選び、全文を日本語にしてください。

- (1) It's too cold to play tennis outside.
- (2) Is it O.K. to eat in this room?
- (3) I think it's a good idea.
- (4) It's a doctor's job to save people's lives.

1. 代名詞 2. 非人称の it(it の特別用法) 3. 形式主語(仮主語)



【4】日本語にきなさい。

- (1) Who made the final decision to put off the meeting?
- (2) The robot has the ability to learn.

【5】日本文の意味になるように語(句)を並べかえなさい。

- (1) [ action / for government / it / is / take / the / to / urgent ].  
政府が行動を起こすことが急がれています。
- (2) [ room / large / to / enough / the / wrestling / practice / is ]?  
その部屋はレスリングの練習をするのに十分な広さがありますか。
- (3) [ big / a / bike / too / ride / this / is / on / child / for / to ].  
この自転車は大きすぎて子どもが乗るのは無理です。
- (4) [ so / be / him / for / early / it / difficult / will / come / to ].  
彼がそんなに早く来るのは難しいでしょう。

【6】前回学んだ to 不定詞を含む表現を用いて英語にきなさい。

- (1) あなたは(もっと)分別があつていい年ですよ。  
(「分別がある」は今学期最初で学んだ 2 語の表現)
- (2) 外出するには寒すぎたので、(私は)家にいました。
- (3) 私たちが時間通りに終えるためには、急がなければなりません。  
(in order を使って)
- (4) ちょっと調べてみる(do a little research)のがいいかもしれませんね。  
(形式主語構文の形容詞の位置に a good idea を入れて)
- (5) 昼食後に職員がする(べき)ことがあります。  
(There is 構文を使って)

## 今日の英語の音

英文を書き取りなさい。

(1).....

(2).....

